サイバーセキュリティの置き薬

2020年
第20号

「Wi-Fi提供者向けセキュリティ対策の手引き」について総務省から改定版が公表されています

Wi-Fi提供のリスクや具体的な対策等を確認し、実際の環境に応じたセキュリティ対策をとるための参考として、この手引きを紹介します。

適切なセキュリティ対策とは

◇利用者の安全を守るために
- ●セキュリティの周知啓発
- ●強固な暗号化を導入する（WPA2やWPA3等）
- ●公衆無線LAN（Wi-Fi）端末同士の通信を遮断設定する
- ●偽アクセスポイント対策（認証画面をhttps化し、そのURLを周知）

◇不正利用防止のために
- ●ネットワーク機器を厳重に管理し、最新のファームウェアで運用する
- ●業務用のネットワークとWi-Fi提供用のネットワークは分離する
- ●利用者情報の確認や認証の仕組み（下記のいずれかの利用者認証方式）を導入する
  - ・　利用していることの確認を含めたメール認証方式
  - ・　SNSアカウントを利用した認証方式
  - ・　SMS連携方式

◇万が一悪用された時のために
- ●アクセスログを長期保存する

Wi-Fi利用者の約３分の２が、利用に不安を感じているという調査結果があります。Wi-Fi提供者は、Wi-Fi利用者が安心して使うための適切な情報（利用条件やセキュリティ対策の有無等）の提供をお願いします。

【参考サイト】
総務省「Wi-Fi提供者向け　セキュリティ対策の手引き」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000690267.pdf